

平成31年度徳島大学入学選抜における変更事項について

現時点で決定している、平成31年度入試における入試方法の変更等についてお知らせします。

(1) 医学部

① アドミッション・オフィス入試（AO入試）の新規実施（大学入試センター試験を課す）

【変更内容】 医学部におけるアドミッション・オフィス入試（AO入試）の新規実施

学科	変更後	変更前
医学科	アドミッション・オフィス入試（AO入試）を新規で実施する（募集人員8名）。 詳細は、別表①。	アドミッション・オフィス入試（AO入試）の実施なし

別表① 医学部医学科におけるアドミッション・オフィス入試（AO入試）（大学入試センター試験を課す）選抜内容

学科区分	医学科
募集人員	8名（各県受入人員の目安＝徳島県2名、香川県2名、愛媛県2名、高知県2名）
出願要件	次の要件を満たしている者で、合格した場合は入学を確約できる者とする。 (1) 次にあげる地域の高等学校を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業または卒業見込みであり、平成31年度大学入試センター試験において本学科が指定した全教科・科目を受験する者 【徳島県、香川県、愛媛県、高知県】 (2) 大学入学後、直ちに下記を確約できる者 ・徳島大学大学院医科学教育部において大学院進学（MD・PhDコース又は卒業後3年以内に4年間の博士課程） ・徳島大学病院又は徳島大学病院が指定する主要基幹病院において2年間の初期臨床研修 (3) アドミッション・ポリシーを深く理解し、合致していることを明確に示すことができる者 (4) 高等学校における調査書全体の評定平均値が3年次1学期あるいは前期終了時点で4.3以上の者 (5) 本学科が指定した日時を実施する「徳島大学医学部医学科AO入試事前説明会」に参加した者
選抜方法等	第1次選考、第2次選考そして大学入試センター試験の成績を総合して判定する。 1 個別学力検査等 (1) 第1次選考 ・志望理由書 ^{注1)} 、活動報告書 ^{注2)} 、調査書、確約書 (2) 第2次選考 ・総合討論 ^{注3)} 、個人面接 ^{注4)} 2 大学入試センター試験の成績（合計：900点） 国 語（200点）：「国語」 地歴・公民（100点）：「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1（第1解答科目） 数 学（200点）：「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」 理 科（200点）：「物理」「化学」「生物」から2（科目選択方法D） 外 国 語（200点）：「英語（リスニング含む）」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1
備 考	※最終選考は、第2次選考に合格した者で、大学入試センター試験における得点が900点満点中概ね720点以上の者を最終合格とする。 ※本アドミッション・オフィス（AO）入試の出願は10月下旬、第1次選考は11月中旬、第2次選考は11月下旬となり、そして、第2次選考通過者の通知については、12月中旬に大学ホームページ等で行う予定。最終合格発表は大学入試センター試験の成績を総合して判定後、2月上旬に行う予定。なお、本入試では医学部で学ぶために必要不可欠な資質とリーダー性を深く評価するため、合格者が募集人員に満たない場合がある（不足人員は一般入試合格者で補充する）。 ※MD・PhDコースは、医学科4年生終了時点で大学院に進み研究力を身につけ、医学博士（PhD）を取得した後、5年生に戻り医師の免許（MD）を取得するコースです。詳細は、徳島大学医学部教育支援センターHP（ http://www.tokushima-u.ac.jp/scme/MD-PhD/ ）をご確認ください。 ※各県受入人員の目安は入学定員ではありません。

注1)「志望理由書」の選抜内容<予定> ※重点評価項目：「関心・意欲・態度」「表現力」

医学部医学科を志望する理由・動機、入学後に学びたいこと及び将来への抱負を400字程度で具体的に記述して提出する。

注2)「活動報告書」の選抜内容<予定> ※重点評価項目：「関心・意欲・態度」「主体性」「協働性」

中学校卒業後に意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）を評価し、資格・検定等の成績を参考にする。

※詳細は平成31年度入学選抜要項等で周知する。

●提出書類について<予定>

①意欲的に取り組んだ活動

1 件につき300字までとし、3件まで記入する(3件は上限で、件数は評価の対象ではない)。また、①に関する参考資料を出願時に添付することは任意とするが、記入用紙の内容によって、その根拠を事前に確認する必要があると判断した場合等は、根拠となる資料を選考時等に持参または送付するよう大学から連絡を行うことがある。

②資格・検定等

取得した資格、合格した検定等について記入する(件数は評価の対象ではない)。記入した資格・検定等の証明できる書類を必ず提出すること。資格・検定等の成績、証明できる書類とも参考扱いとする(資格・検定等を必ず取得することを前提とするものではない)。

注3)「総合討論」の選抜内容<予定> ※重点評価項目:「思考力・判断力」「表現力」「協働性」

総合討論(集団討論に加え、小論文形式の出題やレポート作成を組み合わせた選抜)は下記の手順で実施する。

- ①(小論文形式)日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行う。
- ②(集団討論)①の解答終了後に出題内容の中の題材による集団討論を行う。
- ③(まとめレポート)集団討論終了時に討論のまとめに関する簡単なレポートを作成する場合がある。

注4)「個人面接」の選抜内容<予定> ※重点評価項目:「関心・意欲・態度」「表現力」「主体性」

複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。なお、面接においてすべての面接担当者が不適格と判定した場合は、他の選抜方法の成績にかかわらず不合格とする。

(入学者選抜の基本方針)

アドミッション・オフィス入試(AO入試)(大学入試センター試験を課す)<四国定着研究医型>

大学入試センター試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験ではこれらに加え、「関心・意欲・態度」「表現力」「主体性」「協働性」を評価します。四国定着研究医型は、四国地区の環境や生活に関心を持ちつつ、地域に貢献し、国際性と研究能力を兼ね備えた医師をめざす者を積極的に受入れることとしています。本学科における入学者の多様性は極めて重要です。本学科の資源を最大限に活用し、他の選抜区分で入学する学生の模範となる人物を求めます。よって、医療を通じて四国地区、そして世界に貢献するグローバルな視点をもって活躍するリーダー性、そして医学科で学ぶために必要不可欠な資質を深く評価することを目的としています。

② 一般入試(前期日程)

【変更内容】 募集人員の変更

学科	変更後	変更前
医学科	募集人員 64名 ^{注5)}	募集人員 72名 ^{注5)}

注5)医学部医学科の募集人員は予定であり変更となる場合があります。確定した場合は、本学ホームページ等でお知らせします。

(2) 歯学部

① 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）

【変更内容】 個別学力検査等の変更

学科	変更後	変更前
□ 口腔保健 学科	(1) 第1次選考 ・調査書 ・推薦書 ・活動報告書 ^{注)} ・大学入試センター試験の成績 (2) 第2次選考 ・集団討論 ・個人面接	(1) 第1次選考 ・調査書 ・推薦書 ・大学入試センター試験の成績 (2) 第2次選考 ・個人面接

注)「活動報告書」の選抜内容<予定> ※詳細は平成31年度入学選抜要項等で周知する。

中学校卒業後に意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）を評価し、資格・検定等の成績を参考にする。

● 提出書類について<予定>

① 意欲的に取り組んだ活動

1件につき300字までとし、3件まで記入する（3件は上限で、件数による評価は行わない）。

また、①に関する参考資料を出願時に添付することは任意とする。

② 資格・検定等

取得した資格、合格した検定等について記入する（件数による評価は行わない）。証明書類を求める場合があるが、資格・検定等の成績、証明書類とも参考扱いとする。

(3) 生物資源産業学部

① 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

【変更内容】 出願要件の変更

学科	変更後	変更前
生物資源 産業学科	【一般枠】 (1) 全国における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を平成31年3月卒業見込みの者 (2) 高等学校における調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 【地域枠】 (1) 徳島県内における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を平成31年3月卒業見込みの者 (2) 高等学校における調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者	【一般枠】 (1) 全国における高等学校の農業、工業、商業に関する学科又は総合学科を平成31年3月卒業見込みの者 (2) 高等学校における調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 【地域枠】 (1) 徳島県内における高等学校の農業、工業、商業に関する学科又は総合学科を平成31年3月卒業見込みの者 (2) 高等学校における調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者